

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21年 4月 11日

【評価実施概要】

事業所番号	2990700029
法人名	社会福祉法人 正 和 会
事業所名	グループホーム シャルルまきの
所在地	奈良県五條市大沢町5 - 25 (電 話) 0747 - 26 - 6633
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302 - 1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成 21 年 4 月 3 日

【情報提供票より】(21年3月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 19 年 3 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	13 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 13,6

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り	
	5 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	24,900 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (150,000 円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	450 円
	夕食	450 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(3月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	3 名	要介護2	5 名		
要介護3	6 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2	名		
年齢	平均 85 歳	最低	77 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	県立五条病院・寒川医院・さくら歯科クリニック
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、市の北西部の高台に介護老人福祉施設を核に各種老人福祉施設が整備された中に開設されています。ホーム内は、木材をふんだんに使用され温もりと安らぎが感じられます。広く明るい共用生活空間が確保されており、入居者は自分のリズム・ペースで穏やかに生活されています。管理者は、職員の育成に熱意があり、職員も基本理念を良く理解し支援の中で実践されています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	地域住民との交流を重視した理念の作成と実践・重度化や終末期への対応指針の作成等により一層の質の向上への取り組みがなされています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	サービス評価の意義・目的を正しく理解され、全ての職員が目的意識を持って参画し、課題の把握や改善への機会とされています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	会議では、入居者の状況や行事実施の報告と共に、質の向上や運営上の課題解決への取り組み等幅広く意見交換等がなされています。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の訪問時等に職員から積極的に話し掛け、不安に感じている事や意見・希望を聞きだす取り組みがなされ、聴取した意見等は定例会議で検証し必要な事項は運営に反映させる仕組みとなっています。なお、自由な意見を聴取するための意見箱の設置もなされています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	立地環境から日常的な関わりにやや希薄感がありますが、自治会への加入や地域の運動会に参加される一方ホーム内の各種行事を通じて、地域との交流等に広がりが見られます。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者は、それぞれ役割を持って家庭的な環境と地域住民との交流の下で自分らしく暮らし続ける事を方針とした理念が作られています。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の共有と実践に活かすために、日々のミーティングや定例会議で話し合いがなされています。また、理念を優しく表現しフロア入り口に掲出されています。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	立地環境から、日常的な関わりやや希薄感を覚えませんが、自治会への加入や地域の運動会への参加と共に、ホーム内の「夏祭り」「収穫祭」等の行事を通じて地域住民との交流に努められています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義・目的を正しく理解され、自己評価に当たっては全ての職員が目的意識を持って参画され、課題の把握や改善への機会とされています。また、外部評価の結果を職員に周知され質の向上に活かす取り組みがなされています。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	行政・地元自治会代表・家族等で構成する運営推進会議が設置され、入居者の状況や行事実施の報告と共に、質の向上や運営上の課題解決への取り組み等幅広い建設的な意見交換等がなされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域密着型サービスに位置づけられた事を理解され、運営上の相談や情報交換に適宜訪問されています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族等の訪問時に、健康状態や金銭管理等について報告がなされると共に、毎月発行の「ホームだより」にもホームの全体の様子と紙面のスペースを活用して、一人ひとりの暮らしぶり等を記入し報告されています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時等を捉え、職員から積極的に話し掛け意見・希望等を聞きだす取り組みがなされています。また、ユニット毎に相談等の窓口案内の掲示や自由な意見を聴取するための意見箱の設置があります。なお、寄せられた意見等は定例会議で検証し運営に反映する仕組みとされています。		家族等の思いを知ることでサービスの質の向上に繋がるとの考えから、アンケートの実施が検討されていますので、この実施を期待します。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入居者の安定した生活の維持には、馴染みの関係が一つの大きな要因との考えがあり、異動時にはしっかりした引継ぎと職員のフォローにより入居者の混乱等の防止に努められています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人の代表者は、職員の育成への関心が高く、組織内においては経験に応じた研修が実施され、専門的知識や技術の習得に努められています。また、外部研修の受講についても積極的に取り組まれています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内同業者との意見交換等の機会を確保され、質の向上を目指した取り組みがなされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居は本人の納得が基本である事から、入居前に自宅を訪問され、本人の希望・要望等の把握に努め、また、ホームの見学時にはお茶等を一緒に飲みながら雰囲気等を感じてもらい安定した移行に工夫されています。なお、希望がある時には、家族と一緒に体験的入居も取り入れられています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者は人生の先輩で知識・経験豊富な方々との敬いの姿勢を堅持し、暮らしの中で喜び等を共感し合える関係で支援されています。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に詳細な情報収集がなされると共に、暮らしの中の言動にも注意し一人ひとりの思いや要望等の把握に努められています。なお、得られた情報はパソコンで一元的に管理されています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は、本人がより良く暮らし続けるために作るものである事から、家族や職員等関係者が十分意見交換し作成されています。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は3月に1回見直しされていますが、詳細な日々の暮らしが把握されている事から毎月の点検が行われています。なお、体調等に変化が見られる時は関係者が相談し適宜に見直しが行われています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院や買い物等の支援について、家族の状況等を助案され柔軟な対応がなされています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には、協力医療機関の受診とされていますが、本人の希望に応じて従来からのかかりつけ医での受診について配慮されています。なお、本人が望めば近くの開業医と契約により、毎週の往診を受けるシステムも取り入れられています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期への対応は、ホーム・家族双方に高い関心がある事から、指針を作成され、入居時に説明されています。また、職員にも意識付けが図られています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ホーム独自の個人情報保護規定を作成され、新規採用時や職員研修時に学習・徹底に努められています。また、暮らしの支援の中で、入居者の尊厳を損なう事のないよう、言動等には常に留意されています。なお、個人情報に係る記録類は、しっかりと管理・保管されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の基本的な生活の流れの設定はありますが、本人本位に徹しられており、入居者自らのリズム・ペースで生活されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の盛り付けや配・下膳或いは食器洗い等入居者の能力に応じて協働され、楽しい食事の雰囲気作りへの取り組みがなされています。なお、食への関心の維持と気分転換に資するため、希望者には外食の機会も提供されています。		地域密着型サービスは、入居者本位の継続的、安定的な支援のためには、あらゆる人々との関係作りが重要であり、とりわけ一日中関わり合う入居者と職員の「関係づくり」が重視されます。そのひとつの取り組みとして食事を共にすることで一体感を深めることが期待できると考えます。業務の関係上、一部弁当を持参し別に食事をされている職員もありますが、こうしたホームの特性を踏まえて入居者と同じものを一緒に食事を楽しめるよう検討することが期待されます。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日入浴時間帯の設定は無く、入居者の希望に合わせた支援が図られています。また、夜間の入浴についても弾力的に対応されています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事準備や掃除・洗濯等の生活面での技術や編み物・お菓子作り等の特技を生かせる機会・場面を提供し、暮らしへの充実・喜びある生活が送れるよう努められています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出は、気分転換と受ける刺激の有効性を認識され、周辺散歩と共に本人の希望や思いを確認し郵便局や買い物・ドライブ等の外出機会の確保が図られています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	しっかりした見守りが実践されており、玄関は常に開錠されています。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に地元消防署の指導の下に、消火・避難訓練等が実施されています。なお、緊急時に備え消火設備や通報装置が完備されています。また、震災に備え非常物品の備蓄もなされています。		火災発生時は入居者を安全・迅速に屋外に誘導する事が求められる事を認識され、地元住民への働き掛けがなされていますが、十分理解されるところまで至っていないと思われしますので、一層の理解・協力への働きかけによる体制整備を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量・補給状況は詳細に記録されると共に、摂取困難と思われる時は調理を工夫し提供されています。なお、栄養バランスは献立表でチェックされています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ユニット間は吹き抜けになっており自然の採光が取り入れられ広く明るい共用空間が確保されています。また、各所の清掃も行き届き清潔感に溢れています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具・調度品等が持ち込まれ、安心して過ごせる居室となっています。また、洗面・トイレも完備されています。		